

ふれあいネットワーク

社会福祉協議会だより 夢ふうせん

第108号

2015年4月

社会福祉法人
下市町社会福祉協議会
下市町ボランティアセンター
下市町大字善城 140 番地 1
TEL 52-6125

みんな元気で大きくなーれ!!



子どもたちひとり一人に、シャボン玉のプレゼントがありました。そっと手をさしのべて、手の上にのったシャボン玉が消えていくのを不思議そうに見ている子。捕まえようと追いかける子。ほほえましい姿をお母さんたちは嬉しそうに眺めていました。



子育てサロンを巣立って4月から
幼稚園に入園するお友達

地域で子育て

ふれあい子育てサロン開催

3月11日、下市町交流センター
において子育てサロンを開催し
ました。

この日は、奈良市在住の子育て
支援団体メロディ・アリサの川西
明代さんをお迎えし、「楽しい親
子遊び」と題して親子のふれあい
遊びをしました。

ミュージックケア(音楽療法を
通して子どもたちが、「自らやっ
てみたい」と考える心を育て、大
人も一緒に参加し楽しむことで、
子どもたちの意欲を育てること
に繋がります。

川西さんは、「わが子が参加し
ないからと言って無理に輪の中
に入れなくてもいいですよ。お
母さんが楽しんでください」と声
をかけていました。

子どもたちの大好きな妖怪体
操に合わせてみんなで楽しく踊
りました。

この子育てサロンは、今から12
年前の3月に民生委員児童委員
の協力で発足してから56回目の
サロンとなり、多くの子どもたち
が、サロンを巣立ち、立派に成長
してくれることを願っています。

平成26年11月25日、奈良県社会福祉大会において新谷篤子氏（本町）が社会福祉団体功労者表彰を受賞されました。



肢体不自由児者父母の会交流会での様子
～下市町交流センターにて～

県社協会長表彰に思うこと

肢体不自由児者父母の会
新谷 篤子

11月25日に表彰状を頂きましたが、ただひたすら子どものために進んできただけのことです。

1996年6月に「子どもたちが将来幸せに暮らすために」と下市町肢体不自由児・者父母の会を父母5名で発足。

当時、地元吉野地域では、養護学校卒業後（重度な障害児）の進路先が皆無でした。それで、子どもたちの卒業後の日中の生活の場として、通園事業やデイサービスが必要と感じました。

その実現のため、郡の支部長米田さんをはじめ、会員のみなさまと共に運動をし、4年越しの運動が実り、吉野学園で通園事業、大淀園でデイサービスが実現しました。今はどちらも利用できなくなりましたが・・・。
かわりに、生活介護、移動支援、居宅介護、同行援護などサービスが増えるとともに社会資源（事業所）もできています。
しかし、まだまだ地元では不十分です。そして近い将来、親が動けなくなった時の子どもの『終の棲家』を・・・
親が安心して託せる施設を望んでいます。

家族介護交流事業

在宅介護を考える集い

平成26年度第6回標記集いを下市温泉秋津荘で、松岡泰子氏をお迎えし、在宅介護者のリフレッシュを目的に健康体操を開催しました。年齢と共に硬直していく体をゆっくり解しながらストレッチ。

心地よい音楽に合わせながら、バランス感覚を養ったり、腰痛予防に良いといわれる体操やリズムカルな音楽に合わせて頭の体操「河内音頭」の振

り付けなど、笑いと癒しの時間が、あっという間に過ぎていき、介護者の皆さんは、楽しかったと喜ばれていました。
先生から、頂いたかわいいポールをお土産に、「家でも、時間を見つけて体操しますと」話されていました。



下市町社会福祉協議会では、在宅で介護高齢者のお世話をしている人たちを対象に年6回の集いを開催しています。

お問い合わせ

下市町社会福祉協議会

電話 52-6125迄

子育てサークルとは

子サークルとは、それぞれの地域を拠点に、子育て中のお母さん等が中心に多様な活動をおして、子ども健やかな育ちを促進し、お母さん方の子育ての不安感や孤独感を緩和することを目的としています。また、親同士が気軽に交流しうち解けた雰囲気の中で、子育てを楽しみ、お互いに支え合う子育てサークル活動です。

下市町子育てサークル

「でんでんむし」紹介

季節の行事を取入れてみんなで楽しく活動しています

今さら、サークルなんて、輪ができてしまって入りにくいと思われるお母さん！

「でんでん虫」のメンバーはみんな明るくて気さくな方ばかりなので、いつでも、どなたでも大歓迎です。お待ちしております
次回

4月23日（木）午前10：00～

下市町交流センター（ごんたくんの家）

連絡先 伊 浅 恵 美

080-1477-0609



車イス体験学習



2月17日、巡回ボランティア教室の一環として車イス体験学習を行いました。

障害を持つ人や介護を必要とする人の理解とこの体験学習によって障害や高齢者を中心とした介護への理解を深めるための学習で、この学習を通して、支え合える地域の一員である自覚をもつて、他人を思いやる心を育てることを目的に開催しています。

この日は、「平成記念病院」理学療法士河村隆史氏を講師にお迎えし、車椅子の種類や名称、扱い方の説明を受けました。

その後、ふたり一組になって車椅子に乗る人・押す人で体験しました。



《児童の感想》

- ・視線が低かった。恐かった。
- ・ジグザグ操作が難しかった。
- ・下りや坂道を押す時重く感じた。
- ・乗っている人が落ちそうに思えるのに力がいった。
- ・押してもらっている時、壁にぶつかりそうに思い恐かった。
- ・車椅子に乗っている人の気持ちが分かった。
- ・押してもらって、声をかけてもらいありがたいと感じた。

実際に体験して、声をかけあうことの大切さや相手の気持ち考えるなど多くのことを学ぶことができた様子でした。



ふれあい手話教室開催

下市ユートピア保育園



理学療法士河村隆史氏による車イスについての説明

福祉教育推進事業

地域福祉配分金事業（赤い羽根共同募金）

下市町社会福祉協議会では、下市町内保育園・幼稚園・小学校・中学校において身近なことから始めようをテーマに手話や車イス体験学習や福祉問題（高齢者、障がい者等）ボランティア活動の大切さや意義等について福祉学習の充実を目指すとともにボランティア活動のきっかけづくりを推進するために開催しています。

3月12日ふれあい手話教室を開催しました。

この日は、奈良県聴覚障害者支援センターから松田晃子さん、手話通訳に越智より子さんを迎えて「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など簡単なあいさつを習ったり果物・動物等身振りで表してあてっこしました。また、「グー・チョキ・パー」でなにくろう」の手遊びや「春が来た」を身振りや手話を交えてみんなで楽しく元気いっぱい歌いました。

みんなで遊ぼう!!
「伝承 あそび」

3月4日(水)、みんなであそぼう「伝承あそび」を開催し、今回は、折り紙でおひなさまを作りました。日本に昔から伝わる遊びや季節にちなんだ折り紙をし、伝承遊びを通して、集中力・知力・瞬発力・根気・勇気などたくさんの方を養っていくといわれています。親子で遊ぶ楽しさと安心感を与えながら、様々な力が育ってくれることを願って開催しています。

年間5〜6回開催する予定で、詳しくは、下市テレビにてお知らせします。



おひな様の折り紙を台紙に張ってかわいい作品ができあがりました。

交流事業開催!! 「Let's try」



3月6日(金)上南成子さんを講師にお迎えし、「お花のフォトフレーム」作りを体験しました。このフォトフレームは小物入れにもなり、真っ白なフレームにきれいなお花を飾りつけ個性のあるものに仕上がりました。

参加された皆さんは「お喋りしながら、楽しく体験することができました。」と喜ばれていました。

次回からの案内は、下市テレビ、チラシ等でお知らせします。参加お待ちしております。



子育て支援事業
タラン先生&ローザ先生の
「英語であそぼう!!」

2月19日は、バレンタインデーにちなんだゲーム遊びやかわいいハートのカード作りを楽しみました。

3月19日は、今年度最後の「英語であそぼう」を開催。

みんなで桜の花びらに絵をかき、一足早く桜の木に花を咲かせ大喜びでした。

回を重ねるごとに成長していく子どもたちを見てALTの先生も終始ニコニコ顔。

次回、4月16日(木)10時〜
下市町交流センターにて
みんな待ってるね!!

27年度

交流事業&子育て支援事業の予定

☆「英語であそぼう」

毎月第3木曜日

午前10時〜11時

☆「伝承遊び」年間5回開催

4月21日(火)

午前10時〜11時

○対象者：いずれも未就園児とその保護者

☆「Let's try」

物づくり等色々な企画を計画しています。

○対象者：下市町在住と勤務の方

開催日及び内容の詳細は下市テレビ等にて随時お知らせします。

